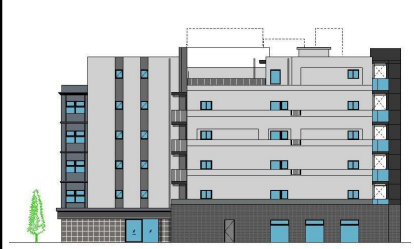


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市河原口1丁目計画	階数	地上6F
建設地	海老名市河原口1丁目455-1、-6	構造	RC造
用途地域	第1種住居、準防火	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年7月3日
敷地面積	1,415 m ²	作成者	株式会社吉田正志建築設計室
建築面積	874 m ²	確認日	2024年7月3日
延床面積	3,551 m ²	確認者	株式会社吉田正志建築設計室



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の熱損失性能の向上に努めた計画	その他 特になし
Q1 室内環境	遮音等級T-2以上を採用	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
Q2 サービス性能	耐用年数が高い給排水管を採用	
LR1 エネルギー	BPI=0.67	LR3 敷地外環境 照明による光害対策ガイドラインのチェックリストを活用
LR2 資源・マテリアル	ODP=0、GWP=10の発泡剤を用いた断熱材等を使用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される